

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

令和7年6月

那須塩原市議会定例会議

【質 問 者】

【令和7年6月10日(火)】

- 1 9:25～ 公明クラブ
 議席番号 14番 田村 正宏議員

受付番号	令和 7 年 5 月 2 1 日
第 1 号	午前 3 時 5 3 分受付 午後

令和 7 年 5 月 2 1 日

那須塩原市議会議長 齊藤 誠之 様

会派名 公明クラブ
議席番号 14 番 田村 正宏

会派代表質問通告書

令和 7 年 6 月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容（詳細に）
1. 「フューチャーデザイン」や「バックキャスティング」を活用した「地方創生2.0」時代の自治体戦略について	2014年に政府が掲げた地方創生は、「東京一極集中の是正」「若者の地方回帰」などを目標としていましたが、現実には地方の人口減少に歯止めがかからず、対策として講じられてきた施策も短期的な補助金やインフラ整備に偏り、地域が持続的に自立していくための仕組みにはつながっていないのが現状です。 こうした背景のもと将来の社会構造が大きく変化することが予測される中で、本市においても将来世代の視点に立って現在の意思決定を行う「フューチャーデザイン」や、理想的な未来の姿から逆算して今なすべき施策を立案する「バックキャスティング」に基づく施策の展開が求められます。 今後の自治体政策の基盤となる、石破首相が掲げる「地方創生2.0」は、地域が主体となり、多様な価値観やライフスタイルを尊重しながら、持続可能な社会を築くことを目指す長期的視野に立った取り組みであり、その実現には、前例にとらわれない柔軟な対応と発想が求められることから以下について伺います。 (1) 本市における地方創生の取り組み及び成果と課題について

	(2) 第二次総合計画後期基本計画や関連する部門別計画について ① 策定における外部委託の実態について ② 職員の関与と政策形成能力の向上について ③ 住民参加・地域との対話の在り方について (3) 将来世代の視点を政策に反映させる組織体制の整備について (4) 今回改定された都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について ①将来的な人口規模を見据えた都市機能の再配置や、公共施設の適正化に対する方向性について ②将来世代の視点や未来の姿から逆算して優先的に取り組むべき施策は明確になっているか ③人口減少を前提とした「縮小型のまちづくり」への転換をどのように位置づけているか ④生活圏の利便性や移動手段の確保に対する方向性について (5) 二地域居住の推進による関係人口の拡大について (6) 将来を見据えた広域連携に対する認識及び方向性について
--	--